

2026. 1. 11 Sun

at Tokyo Metropolitan Theatre
Concert Hall

主催：一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

助成：  文京庁

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会



<https://www.tkwo.jp/>

 つくる。つづむ。つなく。
東京佼成ウインドオーケストラ

今ここから羽ばたく吹奏楽

172nd
SUBSCRIPTION
CONCERT

国を超え、未来へ…
飛翔の時



「チェロ」
宮田 大
Miyata Dai, Cellist



「指揮」
大井剛史
(常任指揮者)
Ooi Takeshi, Principal Conductor

PROGRAM | プログラム

よろこびの翼 / J.カーナウ

Where Never Lark or Eagle Flew / James Curnow [約11分]

チェロ協奏曲 [TKWO委嘱新作・世界初演] / 向井響

Cello Concerto [Commissioned work by Tokyo Kosei Wind Orchestra / World Premiere] / Mukai Hibiki [約28分]

休憩 Intermission [20分]

my butterflies for wind orchestra

[2012年デュポール大学音楽学部との共同委嘱作品] / 藤倉大

my butterflies for wind orchestra / Fujikura Dai [約14分]

彩をえがく鳥 / 芳賀 傑

Colorful Bird / Haga Takashi [約11分]

ピース、ピースと鳥たちは歌う / 伊藤康英

Peace, Peace, so Sing the Birds / Ito Yasuhide [約8分]

注意

- 本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合がありますこと、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- 携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- 演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮ください。

本公演に関するアンケートへ
ご協力ください。



PROFILE | 指揮者プロフィール

常任指揮者

大井剛史

Ooi Takeshi

Principal Conductor



©Ayane Shindo

東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者。

17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、同大学院指揮専攻修了。若杉弘、岩城宏之の各氏に指導を受ける。1996年安宅賞受賞。スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラブチェフスキーの各氏に指導を受ける。

2007～2009年チェコ・フィルハーモニー管弦楽団で研修。2008年アントニオ・ペドロロティ国際指揮者コンクールで第2位入賞。在学中より東京二期会、新国立劇場などのオペラ公演で副指揮者をつとめ、2002年「ペレアスとメリザンド」(ドビュッシー)を指揮してデビュー。その後はオペラのほかバレエ、ミュージカル、日本舞踊との共演など多くの舞台公演を指揮。

仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者(2000～2001)、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者(2009～2016)、山形交響楽団指揮者(2009～2013)、同正指揮者(2013～2017)、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者(2014～2024)を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮している。

レパートリーは極めて広く、オーソドックスな管弦楽／吹奏楽の作品を中心として、現代音楽の初演、ゲーム音楽、映画音楽、ポップスなどありとあらゆる音楽を手がける。トーク付きのコンサート、また子供のためのコンサートなどを通じて、より多くの方々に音楽に親しんでいただくことに情熱を注いでいる。

東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)、尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

PROFILE | ソリストプロフィール

チェロ
宮田 大
Miyata Dai
Cellist



2009年ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。

スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。

チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に、室内楽を東京クワルテット、原田禎夫、原田幸一郎、加藤知子、今井信子、リチャード・ヤング、ガボール・タカーチ=ナジの各氏に師事する。

これまでに国内の主要オーケストラはもとより、パ

リ管弦楽団、ロシア国立交響楽団、ハンガリー放送交響楽団、S.K. ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団などと共演している。

マスメディアでも「小澤征爾さんと音楽で語った日~チェリスト・宮田大・25歳~」「題名のない音楽会」「徹子の部屋」「クラシックTV」「あさイチ」などへ出演。また2025年NHK大河ドラマ『べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺』の「べらぼう紀行Ⅰ」を担当。

録音活動も活発で、トーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコティッシュ交響楽団との共演による「エルガー：チェロ協奏曲」をリリース。欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK 2021」において、コンチェルト部門(チェロ)で受賞するなど、海外からの評価も高まっている。

最新アルバムは、ギタリスト大萩康司とのデュオ第二弾となる『atelier』を2024年12月にリリース。近年は国際コンクールでの審査員や、2019年からロームミュージックセミナーの講師を務めるなど、若手の育成にも力を入れている。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A.ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。

PROGRAM NOTES

曲目解説：中橋愛生 (TKWO楽芸員)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

ジェームズ・カーナウ作曲

よろこびの翼

ジェームズ・カーナウは、1943年生まれのアメリカの作曲家。ウェイン州立大学とミシガン州立大学大学院でユーフォニアムをレナード・ファルコーニに、指揮法をハリー・ベギアンに学んでおり、並行して作曲も行っていた。その吹奏楽作品は高く評価されており、1977年の『交響的三部作』と1979年の『吹奏楽のためのコラージュ』でfolkヴァイン作曲賞を二度受賞、1980年の『ムタンザ』と1984年の『ユーフォニアムとウインド・アンサンブルのための交響的変奏曲』でアメリカ吹奏楽指導者協会(ABA)オストワルド作曲賞を二度受賞、1985年の『オーストラリア変奏組曲』で国際吹奏楽オリジナル作曲コンクール受賞、1994年の『ロッキンバー』でグー・ド・ヴァン国際交響吹奏楽作曲コンクール入賞と、華々しい受賞歴を誇っている。こうした高度な吹奏楽作品を発表する一方、演奏難度が低い教育用の作品も多数発表している幅広さも兼ね備えている。自身がユーフォニアム奏者なこともあり、金管楽器、特にユーフォニアムのための作品も数多い。特に吹奏楽伴奏でよく演奏される『ユーフォニアムのためのラプソディ』は、重要なレパートリーとして知られている。また、音楽の初期教育を救世軍のプログラムから学んだ関係から、アメリカの作曲家としては珍しく金管バンドのための作品も多い。ほか、合唱曲や教育用の管弦楽作品、吹奏楽への編曲も手がけており、その出版作品は800曲を超えている。こうした作曲活動に加え、いくつかの大学で教鞭を執るなど教育者としても優秀で、アメリカ優秀教育者賞やアメリカ吹奏楽指導者協会(ABA)優秀賞、北米ブラスバンド協会会長賞なども受賞している。

『よろこびの翼』は、日本の名門高校バンド、天理高等学校吹奏楽部のOB組織である天理楽朋会が創立50周年を記念し委嘱した作品。初演は1992年12月24日に新子菊雄指揮の同部により、指揮者および同部に献呈されている。この邦題は天理高等学校吹奏楽部が意識して付けたもので、原題をそのまま訳すと「ひばりも驚も飛ばぬ場所」となる。これは、「空高く(High Flight)」という詩の中の一節からカーナウが採ったもの。この詩は、ジョン・ギレスピー・マギー・ジュニアという19歳で亡くなった青年の作。そのため、スコアには副題として「ジョン・ギレスピー・マギー・ジュニアの詩に基づく」と記されている。マギーは宣教師であるアメリカ人の父とイギリス人の母を持ち、南京やイギリスで育った。その後アメリカにわたり、学業も優秀で将来を嘱望されていたものの、第二次世界大戦でイギリスにいる友人たちを守るためにカナダ空軍に入隊、戦地に赴きドイツ軍と戦っている。その作戦行動の訓練飛行中、不慮の空中接触事故により、マギーは墜落死してしまう。元々は詩人を志していたマギーは、死の

数ヶ月前に高度9000メートルの高さまで飛行し、そのときの心境を詩に託した。それが「空高く」である。地球の束縛から解き放たれ、陽光あふれる静寂のなかで神の領域に触れた高揚感。その空に対する畏敬の詩は、現在ではアメリカ空軍の隊員が暗唱し、宇宙飛行士も携行するようになっている。

カーナウがなぜこの詩を日本の高校バンドの委嘱作の題材に選んだのかは不明だが、詩作のきっかけは戦争ではあるものの内容は純粋に飛翔の喜びであるため、若者たちが束縛から解き放たれ輝かしい未来へ羽ばたいていくことを願ったのであろう。事実、曲は明るさと活気に満ち溢れている。

藤倉 大作

my butterflies for wind orchestra

藤倉大は1977年に大阪に生まれた。幼い頃から音楽に関心を持ち、それがきっかけでヨーロッパに興味を持ち、中学の頃から長期休業中にイギリスに語学留学、高校からイギリスに本格的に留学しトリニティ音楽院に進学、ジョージ・ベンジャミンなどに作曲を師事している。在学中の1998年にはセロツキ国際作曲コンクールで最年少で優勝するなど数々の国際的な作曲賞を受賞して広く知られるようになり、ペーテル・エトベシュやピエール・ブーレーズといった高名な作曲家の知己を得てさらに活動の幅を広げた。これまでに4作のオペラを含む数多くの作品を発表、日本でも2009年に尾高賞と芥川作曲賞、2010年の中島健蔵音楽賞といった数々の賞を受賞し、いずみシンフォニエッタ大阪の音楽監督に2024年12月から就任するなど、重要な位置付けとなっている。吹奏楽作品も2018年に発表された『チューバ協奏曲』があり、その初演は芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミーとTKWOメンバーの合同で行われている。また、『フロズン・ヒート』のような大規模な管楽合奏作品もいくつかある。

『my butterflies』は、2012年にTKWOが、シカゴにあるデュポール大学音楽学部と共同で委嘱した曲(デュポール大学にとっては創立100周年記念でもあった)。初演はまず2013年2月8日にミハエル・レヴァンスキ指揮のデュポール大学アンサンブル20+によって行われ、次いで同年2月22日にTKWOでも行われた。このときのTKWOの演奏はライブCDが発売されている。曲はTKWO初演時の指揮を担当した金聖響に献呈されている。特徴的なのはその編成で、フルート2(ピッコロ持替)、アルトフルート、オーボエ、ファゴット、クラリネット2、バスクラリネット、ピッコロトランペット2、トランペット2、ホルン4、トロンボーン3、チューバ、となっている。一般的な吹奏楽では標準的に入っているサクソフォン・セクションとユーフォニアムが含まれておらず、打楽器も用いられない。通常の管弦楽団の管楽器セクションに近い、ダブルリード楽器が1本ずつの変則3管編成による管楽オーケストラ作品と言える。

作曲に際しては、藤倉の妻が胎内に娘を宿していた時に口にした「おなかの中に蝶々が羽ばたいている感じだ」という感覚がイメージされているという。また、科学雑誌に掲載されていた花の種子の接写写真のイメージも重ねられているようだ。その、蝶の羽ばたきや、種子の綿毛の様相を思わせるかのよう

なフラッター・タンギングが多用されている。それを優しく包み込むかのような、金管楽器の同音トレモロを伴うプラクティス・ミュートやハーマン・ミュートの音色も印象的だ。これらの響きの中から、様々な線が浮かび上がり、終盤でのオーボエとファゴットの二重奏による旋律線へと辿り着く。1パート当たり1奏者というウインド・アンサンブルによる、極めて繊細な響きが織りなす世界が美しい。

芳賀 傑作曲

彩をえがく鳥

芳賀傑は1989年生まれ。東京ミュージック&メディアアーツ尚美(現:尚美ミュージックカレッジ専門学校)から愛知県立芸術大学へと進み、卒業後にバリ国立地方音楽院で学んでいる。留学前からPTNA(全日本ピアノ指導者協会)ピアノコンペティション特級部門の新曲課題曲に作品が採用されるなどしていたが、特に注目を浴びるようになったのは、2017年の帰国以降に、主に吹奏楽分野においてであろう。2017年に『少年は雲を駆ける』で日本管打・吹奏楽学会作曲賞の佳作を受賞、そして2018年に『水面に映るグラデーションの空』でクー・ド・ヴァン国際交響吹奏楽作曲コンクールの第1位および聴衆賞を受賞し、一躍注目を浴びるようになる。後者はTKWOの第151回定期演奏会でも演奏され、ライブCDが発売された。この業績により2020年度の日本管打・吹奏楽アカデミー賞を受賞し、さらに2021年に今回の演奏曲『彩をえがく鳥』がOFSI国際作曲コンクールで第1位を受賞して、その評価を確かなものとした。現在はアマチュアからプロまで多くの吹奏楽団やアンサンブルのために作編曲作品を提供するようになっており、次代を担う作曲家の一人として嘱望されている。

『彩をえがく鳥』は、やまもシンフォニックバンドの委嘱により2020年に作られた。予定されていた初演はコロナ禍の影響で延期となっていたところ、前述のOFSI国際作曲コンクールに応募され評価された。このコンクールは作曲家フランコ・チェザリーニが長年指揮を務めているスイス・イタリア吹奏楽団(Orchestra di Fiati della Svizzera Italiana)が創立30周年を記念して行った作曲コンクールで、審査員長のチェザリーニのほか、クリスチャン・ヤンセンとホセ・スニャール＝オリオラが審査にあっている。受賞後、2022年4月29日に委嘱団体によって初演された(指揮:甘粕宏和)。

「一羽の鳥が様々な風景の中で色彩をえがきながら舞い飛ぶ」という芳賀が記したイメージ通り、曲には鳥のさえずりや羽ばたきを思わせる音型や奏法、モチーフが散りばめられている。曲の随所で、複数の奏者が自由な速さで演奏するのも印象的だ。それらが豊かなオーケストレーションによって鮮やかに変化する旋法の響きを飛び回ること、まばゆいばかりの輝きが溢れ出す。曲はゆったりした前半と、変拍子を伴う速い後半とに分かれているが、一貫して明るい響きに満ちた、どこか祝祭的な音楽となっている。

伊藤 康英作曲

ピース、ピースと鳥たちは歌う

伊藤康英は1960年生まれ。東京藝術大学および同大学院で学び、作曲を野田暉行に師事し、学部在学中の1982年に日本音楽コンクール作曲部門に入賞、成績優秀者に贈られる安宅賞を得て卒業した。管弦楽や室内楽、合唱など広い分野で活動しており、歌曲『あんこまパン』やオペラ『ミスター・シンデレラ』といった作品でもよく知られている。ピアニストとしての評価も高い。現在は洗足学園音楽大学教授を務めているほか、これまでに東京藝術大学や桐朋学園大学で非常勤講師を務めるなど、後進の育成にも励んでいる。

そんな伊藤は自身がかつて吹奏楽部で打楽器を担当していたこともあり、吹奏楽にも造詣が深い。高校生の頃には既に『オン・ザ・マーチ』を作曲、以後、代表作である『ぐるりよざ』や『抒情的「祭」』といったたくさんの作品を発表している。作曲のみならず、世界吹奏楽協会(WASBE)の理事を務める、自身が指導する洗足学園音楽大学の吹奏楽団に著名な指揮者や作曲家を招くなど、国際交流にも貢献しており、名実ともに現代日本の吹奏楽を牽引する存在となっている。

伊藤の作品にはオペラ『ある水筒の物語』など平和を願ったものも少なくない。それは吹奏楽作品にもおよんでおり、その中で最も知られているのがこの『ピース、ピースと鳥たちは歌う』だろう。2018年に創価大学バイオニア吹奏楽団の委嘱で作られ、同年7月7日に伊藤自身の指揮による同団の定期演奏会で初演されたこの曲は、2001年に創価グロリア吹奏楽団の委嘱で作られた吹奏楽のための序曲『平和と栄光』を祖とする。その『平和と栄光』は、カタロニア民謡『鳥の歌』を素材とする楽曲。この民謡は、カタロニア生まれの世界的チェリストであるパブロ・カザルスが編曲し、演奏したことで知られているもの。カザルスは1936年に勃発したスペイン内戦のためにフランスへ亡命、祖国の平和を願ってこの民謡をこたある度に演奏していた。カザルスが亡くなる2年前の1971年10月24日、94歳のカザルスはニューヨークの国連本部にて開催された国連の日を祝う演奏会で、自身の作曲作品『国際連合への賛歌』を指揮した後に、久しぶりに公衆の面前でチェロで『鳥の歌』を演奏した。その伝説的な演奏の前に語ったのが「鳥たちはこう歌います。Peace(平和)、Peace、Peaceと」という言葉。伊藤の今作のタイトルはここから採られたものである。

『ピース、ピースと鳥たちは歌う』は、『平和と栄光』を祖としてはいるが、その内容は異なる。『平和と栄光』が21世紀の始まりの折に、新世紀こそ平和であるように、との思いを4つのバンドを伴って寿ぐ「栄光」的側面の強い大規模な楽曲だった。それに対し『ピース、ピースと鳥たちは歌う』は、『鳥の歌』(冒頭近くでトロンボーンにより提示される)や金管のファンファーレなど『平和と栄光』と同じ要素を用いつつも、異なる展開をし、新しい部分も加わるなど、単に通常編成で演奏できるようにしただけではない、新たな一種の幻想曲となっている。

PROGRAM NOTES

曲目解説：向井 響

向井 響作曲

チェロ協奏曲

この作品は、当初から宮田大さんの音や音楽を思い浮かべながら作曲されている。

大学生だった私は、宮田さんの演奏を初めて聴いた。エルガーのコンチェルトだった。繊細ながら時に激しく時に慈悲深い、多彩な色彩を帯びた演奏は、私の記憶に深く残った。その記憶の音を呼び起こしながら、この作品で、対照的な性質を際立たせるアイデアを思いついた。チェロの最低音から、極めて高い最高音までの全音域を駆使した激しい技巧的な音楽と、ハーモニーの中で揺らぐパッセージや、抒情的な旋律を特徴とする、より繊細で内省的な素材を対比させた。また、東京佼成ウインドオーケストラの持つ、非常に重厚で美しく輝かしい音を生かした音響作りを目指し緻密なオーケストレーションを行った。ウインドオーケストラは伝統的な伴奏役ではなく、ソリストを映し出す鏡の役割を担っている。

この協奏曲は、3楽章形式で、チェロのヴィルトゥオーゾに焦点をおいた1楽章、抒情的で旋律的なエレジーの2楽章、そして非常に速い音楽と特徴的なリズムを持つ3楽章からなる。

昨夏、南米の音楽フェスティバルで私はそのラテン音楽の強烈なリズムに強く惹かれた。日差しが照りつける中で、その熱気あふれる音楽を、私の作品にも取り入れたいと思った。南米に「ケツァール」という鳥がいる。世界一美しいと称されるその鳥は檻の中では生きられず、自由の象徴と言われている。ラテンのリズムで踊り狂う人たちと、ケツァールのイメージが私の中で合致し、そこから、自由な楽想を持ち、鳥の飛翔のように大きなエネルギーの流れる音楽を作ろうと思った。

全員がソリストである東京佼成ウインドオーケストラだからこそのサウンドと、宮田大さんの気品溢れる美しいチェロの音色によるコンチェルトを楽しんでいただけたら幸いです。



向井 響

Mukai Hibiki Composer

作曲家。桐朋学園大学卒業。ハーグ王立音楽院ソノロジー研究所修士課程を首席で修了。第84回日本音楽コンクール作曲部門、マートン・ギボル国際作曲賞、ORDA-2019作曲部門、第33回ACL青年作曲賞、各1位。ローソン・メイ作曲賞、マリン・ゴレミノフ国際作曲賞を受賞。これまでに、NHK、カールスト・グルベンキアン財団、ポンピドゥー・センター、モスクワ国立電子音響センター、ストラスブル現代音楽祭より委嘱を受ける。RMF奨学生、令和3年度文化庁新進芸術家海外研修員。現在、ポルト大学大学院博士研究員。

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。

2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する

日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。

桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、

首席客演指揮者に飯森範親を擁している。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し

高い音楽芸術性を創出し、多くの人を楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 ……フレデリック・フェネル

常任指揮者 ……大井剛史

特別客演指揮者 ……トーマス・ザンデルリンク

首席客演指揮者 ……飯森範親

楽芸員 ……中橋愛生

指揮 ……大井剛史

チェロ ……宮田大

演奏 ……東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo ……丸田悠太(Flute)

Flutes ……前田綾子(Piccolo)、遠藤優衣、
瀧本実里(Alto Flute)

Oboes ……宮村和宏*、桜田昌子

English Horn ……梅枝理恵

Bassoons ……福井弘康*、向後崇雄

Contra Bassoon ……君塚広明(Bassoon)

Clarinet in E b ……松生知子

Clarinet in B b ……大浦綾子、林裕子*、
野田祐太郎、船橋菜里、
河西拓也、後藤榎花、近野千昌、
徳武敦、本田有里恵

Alto Clarinet ……塚本啓理

Bass Clarinet ……森卓也

Contra Bass Clarinet ……原浩介(Contra Alto Clarinet)

Alto Saxophones ……林田祐和(Soprano Saxophone)*、
五十嵐健太、都築惇

Tenor Saxophones ……松井宏幸、中嶋紗也

Baritone Saxophone ……栃尾克樹

Trumpets ……奥山泰三、ガルシア安藤真美子、
河原史弥、川村大、瀬戸口茜、
中嶋尚也

Horns ……堀風翔*、小助川大河、
小山千鶴、幸喜いずみ、佐藤文香

Tenor Trombones ……今村岳志*、安久津理子、
エンスレンション陸

Bass Trombone ……山田怜央

Euphoniums ……岩黒綾乃、大山智、鎌田裕子

Tubas ……池田侑太、中山彰

Contrabass ……前田芳彰

Timpani ……坂本雄希

Percussion ……和田光世*、上原なな江、

岡部亮登、木下卓巳、斎藤祥子、
長澤莉佳、野本洋介、
宮垣輝希

Harp ……安井わか

Piano ……神原颯大

※演奏委員

コンサートマスター

林田祐和

副コンサートマスター

宮村和宏

インスペクター

栃尾克樹

丸田悠太

今村岳志

企画委員

原浩介

役員

理事長 ……勝川本久

常務理事 ……八反田弘

専務理事 ……堀風翔

監事 ……清水宏一

事務局

事務局長 ……勝川本久

事務局次長 ……堀風翔

事務局長補佐 ……八反田弘

制作
篠原華
大橋証太(ステージマネージャー)

羽田紀子(ライブラリアン)

広報
尾崎真也
荻沼美帆(チケットサービス)

賛助会・サポーターズクラブ
荻沼美帆
尾崎真也
佐原由起

営業
森ゆかり

総務
佐原由起
竹内正道

山内真由子(パーソナルマネージャー)

経理
竹内正道

賛助会員

今後も音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間：会費納入翌月より1年間

お問い合わせ：東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX: 03-5341-1255 MAIL: patronage@tkwo.jp

賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2025年12月1日現在)

法人会員

特別会員 (株)佼成出版社

維持会員 エューツーリスト((株)アコード) 名古屋 宗次ホール

賛助会員	株式会社アシストジャパン 遠藤製作所 遠藤悦治 株式会社CAFUAレコード 建友商工(株) 株式会社全音楽譜出版社 株式会社辰美製作所 フォスターミュージック株式会社 みずほ証券株式会社	アトリエ・エム株式会社 海鮮食堂余市の仲間達 管楽器専門店ダク 鈴木住地(有) 立花産業(株) 中央鉄鋼 有限会社 株式会社プリマ楽器 柳澤管楽器株式会社
------	--	--

個人会員

特別会員	天野 正道	加賀美 猛	佐々木 潤	田中 淳子
	林 正作	林 総太郎	久末とまこ	古沢 秀明
	ミーゴ	山内 幸人		

匿名3名

維持会員：151名 / 賛助会員：82名



SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員
募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。

TKWOをもっと身近で特別な存在に♪

サポーターズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら

PR Supporters

PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。(2025年12月1日現在)

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

▼店舗等一覧

アルル音楽教室
(株)コマキ楽器 ジャパンパーカッションセンター
ブレーン株式会社 広島本社
ブレーン株式会社 東京支社
(株)管楽器専門店ダク
ミュージックスクール「ダ・カーポ」
(株)セントラル楽器
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎
管楽器雑貨専門店pitch
ザ クラリネット ショップ
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
(株)永江楽器水戸
野中貿易(株)
ヤマハミュージック 横浜みなとみらい
株式会社 池袋音楽学院
株式会社CAFUAレコード
大江戸シンフォニックウインドオーケストラ
ドレミファクトリー
フルート専門店 テオバルト
アトリエ・エム株式会社
イシバシ楽器 横浜店

フォルテ・オクターヴハウス
管楽器専門店ウィンズスタイル
フォスターミュージック株式会社
金管楽器修理調整 浅香工房
葡萄房 by THE CAMEL
吹奏楽酒場「宝島。」
金寿司
フローリスト花六
中華 大栴
おぐセンター
ワイン酒場トンマーズ
小林メディカルファミリー薬局
天ふじ
立花産業株式会社
方南町 共立薬局
御菓子司 大和や

▼個人のお客様

渡邊 直子
櫻野 哲也

東京佼成ウインドオーケストラではPRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけませんか？ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)ご協力いただける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。

Tokyo Kosei Wind Orchestra
2026-27 Season Concert Schedule

定期演奏会
スケジュール

第173回 定期演奏会
2026年 4月29日[水・祝]



指揮 ユベール・スダーン

- 歌劇「サムソンとデリラ」より「バッカナール」/C.サン＝サーンス/大橋晃一 編
- サクソフォン四重奏と吹奏楽のためのコンチェルト・グロッソ [1992年委嘱作品]/J.アンドリーセン
- サクソフォン四重奏 林田祐和、五十嵐健太、松井宏幸、栃尾克樹
- バレエ音楽《ダフニスとクロエ》(全曲版)/M.ラヴェル/大橋晃一 編

第174回 定期演奏会
2026年 7月5日[日]



指揮 大井剛史 (常任指揮者)

マスランカ・チクルス Vol.4

- 交響曲第3番/D.マスランカ
- 吹奏楽のための風景詩「陽が昇るとき」/高 昌帥



第175回 定期演奏会
2026年 9月21日[月・祝]



指揮 下野竜也

- 呪文と踊り/J.B.チャンス
- 交響曲第2番/J.B.チャンス
- 巫女の舞/保科洋 ユーフォニアム独奏 岩黒綾乃
- 交響曲第2番/保科洋



第176回 定期演奏会
2026年 11月8日[日]



指揮 大井剛史 (常任指揮者)

マスランカ・チクルス Vol.5

- クワイエット・コール [1991年委嘱作品] /真島俊夫 トロンボーン独奏 今村岳志
- ティンパニ協奏曲/酒井格
- ティンパニ独奏 坂本雄希
- 交響曲第8番/D.マスランカ





第177回 定期演奏会
2027年 1月24日[日]



指揮 飯森範親 (首席客演指揮者)

- 波の見える風景(改訂新版)/真島俊夫
- 脆性ノスタルジア 吹奏楽のための/冷水乃栄流
- 秘儀VI(ヘキサグラム)全曲(吹奏楽版世界初演)/西村朗/中橋愛生 編
- バリのアメリカ人/G.ガーシュウィン/保科洋 編
- 交響曲第2番(日本初演)/K.テイ

第178回 定期演奏会
2027年 2月28日[日]



指揮 大井剛史 (常任指揮者)

- 行進曲「希望に燃えて」/水島敦雄 ● 日本民謡組曲「わらべ唄」/兼田敏
- 冬山に逝ける若者への祈り/岩河三郎
- TKWO委嘱作品[世界初演]/波立裕矢 ● サンシャイン序曲/E.E.バークレイ
- サントファ・サガ/M.ゲールド ● ディシジュアス/V.クオン
- 委嘱作品[世界初演]/D.ビーデンベンダー*

*2025年度パロウ賞受賞者による新作。委嘱コンサートに参加する各団体が、それぞれ世界初演を行います。

会場/東京芸術劇場 コンサートホール 開演/14:00(開場13:00)

料金(一回券)/ 第173回 S席 ¥7,500 A席 ¥6,000 B席 ¥4,500 C席 ¥3,500 U25 ¥2,500

第174回~178回 S席 ¥6,500 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000 C席 ¥3,000 U25 ¥2,500

※当日券は500円増しとなります。(U25を除く)

定期会員券 (全6公演)

お取り扱い:TKWO チケットサービス

席種	S	A	B	C	U25
全6公演	¥30,000	¥24,000	¥19,000	¥14,500	¥12,000
1回券×6公演	¥40,000	¥31,000	¥24,500	¥18,500	¥15,000

定期会員特典

特典 1

専用指定席

定期演奏会を毎回
同じお席で
お聴きいただけます。

特典 2

座席の優先確保

次期シーズンのお席を
優先的に確保します。

特典 3

優先予約

主催公演を一般発売前
にご予約いただけます。
(一部対象外の公演がございます。)

特典 4

チケット割引

主催公演を割引価格で
お求めいただけます。
(一部対象外の公演がございます。)

特典 5

各種イベントへの
参加権

各種イベントへ
ご参加いただけます。

TKWO 吹奏楽カフェ



定期演奏会に先立ち、大井剛史(常任指揮者)&中橋愛生(楽芸員)が、公演の演奏曲や作曲者にまつわるエピソードなど、通常の楽曲解説とはひと味違う視点から語ります。ここでしか聞くことのできない会場限定の裏話などもございます。今回は、4月29日開催の第173回定期演奏会についてご紹介いたします。

第10回

2026年 3月24日[火] 19:15 開店

管楽器専門店ダク「スペースDo」 最寄駅「新大久保」駅

料金 2,500円(税込) 詳細はオフィシャルサイトをご確認ください

共催: 管楽器専門店ダク





東京佼成ウインドオーケストラ 公演情報

吹奏楽名曲コンサートin小山

2026年 **2月8日** [日] 開演:15:00

小山市立文化センター 大ホール

指揮 大井剛史(常任指揮者)

好評
発売中



みんなの「押し曲」コンサート

2026年 **2月11日** [水・祝] 開演14:00

東京芸術劇場コンサートホール

指揮 大井剛史(常任指揮者) 司会 中橋愛生(楽芸員)

好評
発売中



課題曲コンサート2026

2026年 **3月23日** [月] 開演19:00

東京芸術劇場コンサートホール

指揮 大井剛史(常任指揮者)

好評
発売中



好評発売中

Original goods

TKWO オリジナルグッズ



楽器クロス



ネイビー

Tシャツ

ブラック

ホワイト



リングノート



トートバッグ



アクリルキーホルダー



缶バッチ



東京佼成ウインドオーケストラ
60年史

ほかにも多くの商品をご用意しております。



ご購入・詳細はこちら



KOSEIレーベルを 音楽配信サービスで

iTunes、Apple Music、Spotify、Amazon Music、LINE MUSICをはじめとする各音楽配信サービスにて1000曲を超える楽曲を好評配信中！
1979年の初リリース以降、ポジティブに、かつ体系的に送り出されたコンテンツは、質・量ともに他の追従を許さない。世界に類例を見ない吹奏楽曲の数々を配信で！

主な配信サービス



iTunes



Spotify



Amazon Music



LINE MUSIC

株式会社 佼成出版社
〒166-8535 東京都杉並区和田2丁目7-1 普門メディアセンター
03-5385-2311(代表)



世界で磨かれた響き
更なる高みへ

- | | |
|-------------------------------------|---|
| <u>The "New York" Series</u> | <u>The "Chicago" Series</u> |
| B \flat Trumpet
YTR-9335NYS-YS | B \flat Trumpet
YTR-9335CHS |
| C Trumpet
YTR-9445NYS-YS | C Trumpet
YTR-9445CHS |
| C Trumpet
YTR-9445NYS-YM | <small>※仕様および価格に関しては、
予告なく変更する場合がございます。
※写真はYTR-9445NYS-YSです。
※商品にはイメージ画像が入っておりません。</small> |



お問い合わせ
お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器 ご相談窓口
フリーダイヤル TEL.0120-132-808
携帯電話、IP電話からは 050-3852-4087へおかけください。
受付時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、センター指定休日を除く)

ヤマハトラバット製品や
動画コンテンツの
ご紹介ページはこちら →



ヤマハ管楽器
安心アフターサポート
※申込期間は、ご購入～1ヶ月以内
詳細はこちら

株式会社ヤマハミュージックジャパン